

## プログラム

アンパンマンのマーチ

交響曲「運命」第1楽章／ベートーヴェン

交響曲「田園」第1楽章／ベートーヴェン

ラデツキー行進曲／シュトラウス

天国と地獄 序曲／オッフェンバック

ウィリアムテル序曲 終曲／ロッシーニ

カヴァレリア・ルスティカーナ間奏曲／マスカーニ

「鉄腕アトム」／高井達雄



©濱津和貴

## 東京21世紀管弦楽団 プロフィール

音楽を通して、多くの人達と手を携え、今までの固定観念にとらわれない新しい時代の「楽しいオーケストラ」を目指して演奏活動を進めて行くプロフェッショナルなオーケストラとして2019年に設立。

浮ヶ谷孝夫（ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト首席客演指揮者）を音楽監督に迎え、定期演奏会では、ベートーヴェン、ブラームス、ブルクナー、シューベルトといった重厚なドイツ音楽で圧倒的な成功を収めている。

また、青少年のための音楽鑑賞会の依頼公演に出演するほか、教育的活動にも積極的参加し、多彩で幅広い音楽活動を展開している。

クラシック音楽を広く普及させる定期公演、自主公演は東京国際フォーラム、東京芸術劇場を拠点とし、紀尾井ホール、サントリーホール、東京オペラシティアンサンホールなど都内の主要なホールで活動をしている。

## 指揮者 辻 博之 プロフィール

東京藝術大学音楽学部声楽科在学中から、オペラ指揮者としての研鑽を積み、2017年オーケストラ・アンサンブル金沢定期公演にデビュー。その後も、九州交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、東京21世紀管弦楽団、The Orchestra Japanと共演を重ねる気鋭の指揮者である。

2021年には東京芸術劇場シアターオペラ、團伊玖磨《夕鶴》を指揮し、『音楽現代』誌に「活躍を期待する指揮者」として取り上げられる。また、新国立劇場オペラ研修所公演《悩める劇場支配人》はイギリス『オペラ』誌上で「優雅かつ的確な細やかさで、チマローザの音楽に脈々と流れる歓喜を引き出した」と評され、オペラ指揮者としての頭角を表している。

舞台作品への劇音楽の作曲や、クラシック以外のアーティストとの共演、ディズニー・オン・クラシック等、垣根の無い音楽活動も積極的に行う他、幼児や子供との音楽活動に力を注ぎ、千葉県文化振興財団との幼稚園出張コンサートは10年で100公演以上を数える。楽しいお話を交えた家族で楽しむコンサート、赤ちゃんと一緒に参加できる合唱団等、〈音楽を未来に繋げる〉活動も積極的に行なっている。



## 板橋区立文化会館 大ホール

〒173-0014 東京都板橋区大山東町51-1

東武東上線「大山」駅 北口より徒歩約3分

都営三田線「板橋区役所前」駅 A3出口より徒歩約7分